

受付 番号	7	受付 月日	11月17日 午前・午後11時00分
----------	---	----------	-----------------------

東郷町議会議長 近藤 鎭治 殿

東郷町議会議員

議席番号 7 番 氏名 加藤 宏明 (印)

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1、本町の財政状況について	<p>○行政にとっても家計にとっても最も重要なのは、お金、予算、財政である。本町の財政は2004年の施設建設時から財政的には、危機状態に陥り、約10年間厳しい財政運営でありましたが、当局の頑張りで昨今は安定した財政状況になってまいりました。2008年の実質公債費率8.1%、将来負担比率65.1%→2014年は3.9%、一と良好になる。しかし財政指数の弱さや近隣市と比べると新たな施策を打たなければ自治体間競争に勝てないと思い質問する。</p> <p>(1) 過去と現在の財政について (2005年、2010年、2014年)</p> <p>① 借入の推移 ② 基金の推移 ③ 自主財源の推移 ④ 勤労者一人当たりの住民税推移と近隣市との比較 ⑤ 農業、商業、従事者の税収額推移 ⑥ 役場職員の税収額推移</p> <p>(2) 予算編成について ① 予算編成にあたっての考え方 ② 当初予算編成への基本的な方針</p> <p>(3) 将来的な財政目標について ① 債務を増加し新たな施策をするのか ② 現状のまま安定を図ってゆくのか</p> <p>(4) 平成28年度予算編成にあたっての基本的な考え方</p>	担当部長 町長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2、第5次総合計画の中間年にあたって	<p>○2011年(平成23年)を初年度とする第5次総合計画が策定され2020年(平成32年)のまちづくりの指針となっております。中間年の2015年である本年、進捗状況、検証について問う。</p> <p>(1) 総合計画とは</p> <p>① 第5次総合計画とは</p> <p>(2) 中間年としての検証は</p> <p>① 福祉分野</p> <p>② 農業分野</p> <p>③ 商業分野</p> <p>④ その他</p> <p>(3) 最終年2020年の展望について</p> <p>① 最終目標は可能か</p> <p>③ 問題点、課題は</p>	担当部長 町長
3、行政から住民参画や協働への仕掛けについて	<p>○町民の価値観の多様化や社会貢献意識の高まりなどにより、NPOやボランティア活動団体が広がりを見せており、町民参画や協働によるまちづくり意識が高まっている。特に女性の協働意識を集約すれば大きな力にもなる。行政が仕掛け、最初の一步を踏み出させ継続させる仕組みが必要と考える。</p> <p>(1) 行政内に施策、戦略、営業、税収増を狙った部署の新設を要望する。</p> <p>魅力戦略課、マーケティング課等</p> <p>① 福祉健康分野では、各種受診や健康促進(各種体操習得や目標達成)者には、ポイント供与などの仕掛け。</p> <p>② 子育て世帯施策では、本町の子育てをもっとアピールし、子育て世帯を呼び込む、「うける」イベントコンテンツにこだわる仕掛け。</p> <p>③ 商業分野では、空き店舗を活用した各種取組。</p> <p>④ 農業分野では田畑の集積有効活用や集積農地への企業誘致。</p> <p>⑤ 新たなまちづくりの仕掛け</p> <p>(2) 仲間を増やし、協働・参画の仕掛け</p> <p>⑤ 一人ではやれることは限られる。役場内での協力で地道なアプローチ</p> <p>⑥ 町民、町外とのコラボレーション 参画への仕掛け、誰と組むか(行政のポジション)</p>	担当部長 町長